

経験を活かして家でもできる ボランティア活動へ

布の絵本ボランティアの会



布の絵本ボランティアの会では、これまで布の絵本・遊具などを作り、保育及び障がい児、高齢者施設などへ貸出・寄贈する活動をした21を拠点に行っていました。

しかし、昨年3月緊急事態宣言下、今までのように集まって活動ができなくなるほか、「市内の福祉活動の財源となる赤い羽根の募金活動も縮小してしまうのではないか」そんな懸念が会の中であり、何か力になれないか考えていました。

そんな中、全国的にマスクの入手が困難となり、布マスクの需要が出てきたことから、「会員の裁縫技術を活かして布マスク作りを行い、登別市共同募金委員会（以下：市共募）で寄付商品として取り扱ってもらうことで募金活動の力になれるのではないか」そんなアイデアが会員からあり、会員それぞれが自宅で布マスクを作り、市共募へ寄贈する活動を始めました。

布マスク作りがキッカケで、市共募では、社協事務所前に“布マスク募金”が設置され、募金額（子ども用100円、大人用200円）に応じて布マスクをお渡しする取り組みが始まり、現在も会の活動で布マスクを提供いただいています。（※集まった募金は赤い羽根共同募金として寄付されます。）

布のマスクを制作している様子



布の絵本ボランティア活動の様子



布マスク
募金箱



赤い羽根共同募金

大人用
(小学校高学年 ~ 大人)

子ども用
(幼児 ~ 小学校低学年)